



食育だより



倉敷まきび支援学校

食育係

6月は、「食育月間」です。食育月間は、国、地方自治体、関係団体が協力して食育推進運動を重点的かつ効果的に浸透させていくため、「食育基本法」を踏まえて策定された「食育推進基本計画」に基づいて定められました。また、毎月19日を「食育の日」と定めて食育推進運動を継続的に展開し、食育の一層の定着を図るための機会としています。

子どもたちにとって、健全な食生活を送ることはとても大切です。心身の成長にも大きく影響しますので、本校でも食について考える機会になればと考え、食育だよりを発行することとなりました。各部の取り組みを中心にお知らせしていきます。

今回は、肢体不自由部門についてご紹介します。安全に楽しく食べることを目標にして、さまざまな取り組みを行っています。



ランチルーム

肢体不自由部門では、小学部・中学部・高等部のみんなが集まってランチルームで給食を食べています。わきあいあいと、とても楽しい時間です。



栄養教諭が毎日、子供たちの様子を見に来てくれています。

準備・片付けも頑張っています！

先生と一緒にワゴンを取りに行ったり、食後に返しに行ったり…。自分の食器をかごに片付けることも!(^~^)

また、高等部の生徒たちは、牛乳パックやごみをまとめて捨てに行くなど、一人ひとり自分のできることを頑張っています。



さまざまな食器を使って…

自分でスプーンですくって食べる、箸の練習を頑張っている、先生に適量を口まで運んでもらって食べる…など実態はさまざまな子どもたちですが安全にしっかり食べられるように食器もさまざまな物を使用しています。



箸の練習頑張っています！

滑り止めのついた固定食器→



材質・形状の異なるスプーン



学級園で育てた野菜を…

中学部では、昨年度、知中と一緒に学級園で育てたジャガイモを調理する学習をしました。ピーラーでむいたり包丁で切ったりして、ホットプレートで焼いて食べました。自分たちで育てた作物の味は格別だったそうです。

